

第9回登米市総合教育会議 会議録

会議の名称	第9回登米市総合教育会議	
開催日時	令和元年12月3日(火)	
	午後1時30分 開会	
	午後2時18分 閉会	
開催場所	登米市役所 3階 第3委員会室	
出席者 氏名	市長	熊谷 盛廣
	教育長	高橋 富男
	教育長職務代理者	畠山 信弘
	教育委員	小野寺 範子
	教育委員	大久保 芳彦
	教育委員	佐竹 美香
	教育委員	須藤 勝子
欠席者	なし	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	総務部長兼市長公室長	中津川 源正
	市長公室長補佐	佐藤 貴光
	教育部長	大森 國弘
	教育部次長	永浦 広巳
	教育部次長兼学校教育管理監	及川 幸男
	教育総務課長	小林 和仁
	学校教育課長	新田 公和
	生き生き学校支援室長	千葉 和幸
書記	教育総務課 課長補佐	佐々木 清晴
議題	確かな学力の向上と豊かな社会性の育成について	

	<p>開会（午後 1 時 3 0 分）</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、第 9 回登米市総合教育会議を開会します。開会時間は午後 1 時 3 0 分といたします。</p> <p>初めに、市長から開会のご挨拶を申し上げます。</p>
<p>熊谷市長</p>	<p>（市長挨拶）</p> <p>皆さんこんにちは。本日は大変ご苦勞様でございます。皆様方にも大変ご心配をおかけしておりますが、台風 1 9 号の大きな被害が登米市においてもございました。特に津山町、東和町、登米町が大きな被害を受けており、災害復旧はこれからが本番になってきますが、なるべく早く普段の生活が取り戻せるよう、多くの市民皆様のご協力と支援をいただきながら、行政も一体となって取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、学校の子供さん方に大きな被害がなかったことは、不幸中の幸いであったと思っておりますが、迫町新田でインフルエンザでの学級閉鎖があったということです。今年は流行がだいぶ早いようですので気をつけていただければと思っております。</p> <p>委員の皆様には大変お忙しいところご出席を賜り、誠にありがとうございます。師走になり慌ただしい日々を迎えていることと思っておりますが、本日はどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>さて、登米市の教育行政については、「登米市の教育の振興に関する施策の大綱」に掲げる 6 項目の「施策の基本方向」に基づき、「登米市教育振興基本計画」に 1 5 項目の「重点的取組」を設けるとともに、登米市教育基本方針を毎年度策定し、個々の事業を推進しております。</p> <p>今回は、本方針の体系別アクションプランに掲げる「確かな学力の向上と豊かな社会性の育成」を図るために、教員の資質、授業力向上の研修事業や教育相談事業を行う教育研究所等の学校教育支援体制の見直し（案）について、教育委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>教育委員の皆様には、ご忌憚のない意見をいただき、その意見を反映させてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします</p>
<p>司会</p>	<p>それでは、議事に入ります。議事の進行に当たりまして、熊谷市長に議長をお願いいたします。</p>
<p>議題・発言</p>	<p>議長・熊谷市長</p> <p>それでは、議題に沿って会議を進めます。</p> <p>「確かな学力の向上と豊かな社会性の育成について」を議題といたします。事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p>大森教育部長</p> <p>（学校教育支援体制の見直し（案）の概要を説明）</p> <p>千葉生き生き学校支援室長</p> <p>（配布資料に基づき説明）</p>

議題・発言	議長・熊谷市長	<p>ただいま、事務局から「確かな学力の向上と豊かな社会性の育成について」、(仮称)教育支援センター、生き生き学校支援室、適応指導教室のそれぞれの業務分担など「学校教育支援体制の見直し(案)について」説明がありました。</p> <p>委員の皆様から、この案につきまして、それぞれご意見をお伺いいたします。</p>
	議長・熊谷市長	<p>初めに畠山教育長職務代理者からお願いいたします。</p>
	教育委員・畠山教育長職務代理者	<p>10月からいろいろな案を提示され、3回ほど協議してきておりますが、これまでの私達の意見がある程度反映されていると感じております。</p> <p>平成30年度に市議会による事務事業評価で教育研究所事業の縮小、廃止の方向との意見をいただいたことは、非常に残念に思っております。</p> <p>しかし、今年7月に教育民生常任委員会の皆さんと教育委員、教育研究所所長さんとけやき教室所長さんを交えての意見交換会が開催されましたが、この交換会で常任委員会委員の皆さんには、本事業の必要性について、ご理解をいただいたと感じております。</p> <p>これまで、教育研究所は、広域行政事務組合の時代から多くの業務を担ってきましたが、(仮称)教育支援センターとして学力向上に特化させること、受け身ではなく現場重視とすること、また、組織体制についても、これまで研修、研究のお世話をしてきた非常勤職員3名だけではなく、主任指導主事を配置し、指導機関として強化を図るという点が評価できると思います。</p> <p>生き生き学校支援室については、平成19年度に不登校や問題児童生徒対策として設置されました。その後、様々な教育課題が出てきて、生き生き学校支援室の業務量が増加してきたところですが、今回、きちっとスリム化をするということで、組織がより良い方向に見直しされていると考えます。</p> <p>次に割愛職員の配置についても、専門性を十分に活かすことができ、即戦力として力量が発揮できる現場主義の組織づくりになっていると感じております。</p> <p>課題については、それぞれの組織の設置場所が、登米祝祭劇場、中田庁舎、中田町上沼と分散していることから、今後、学校教育管理監をはじめとして、指導主事との報告、連絡、相談などの連携が重要であると思います。</p> <p>それから、(仮称)教育支援センターから相談業務を切り離したことが、今回の見直し案の大きな特徴であると言えますが、これまで相談業務を行う環境としては、登米祝祭劇場は最適な場所であったと思います。</p> <p>今後、職員、相談者やカウンセラーにとって相談業務ができる最適な場所とするための環境整備の検討が必要であると思います。</p>
	議長・熊谷市長	<p>畠山教育長職務代理者からは、今回の支援体制の見直しについて、多くの成果が得られるような組織の見直しとなっている旨の評価をいただきました。なお、様々な課題については、今後も検討し</p>

<p>議題・発言</p>	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>てまいりたいと思います。 次に、小野寺委員からお願いします。</p> <p>(仮称)教育支援センターが学力向上対策に特化することはとても良いことだと思います。また、常勤の所長の配置、職員配置や学力向上研究員の選任についても良いことだと思います。私も仕事柄子供と係わっておりますが、子供が分からないのは、指導する方が悪いとよく言われますので、学力向上と先生方の指導力向上にはとても良い組織の見直しであると考えます。しかし、優秀な子供がより学力が向上することで、分からない子供との差ができてしまうと思うので、子供達が「分かる」、「できる」、「楽しい」、「学校に行きたい」と思える授業ができる先生方になってほしいと期待いたします。</p> <p>また、相談業務が生き生き学校支援室に移管されるということですが、市民や学校、保護者に十分な周知が必要であると思います。</p> <p>けやき教室、心のケアハウスについてですが、連携がとれる同じ場所であることは良いと思いますが、けやき教室は集団で、心のケアハウスは個別でなければ支援できないというようなデリケートな子供達ですので、教室の配置について配慮をお願いしたいと思っております。</p> <p>また、非常にデリケートな子供達ですので、場所や職員が代わり、環境が変わって不登校になると困りますので、経験豊富な職員の配置を希望します。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>今回の組織体制の見直しについて、小野寺委員にも概ね了承いただいたと思っております。また、生き生き学校支援室や心のケアハウスのあり方については、今後も詰めていかなければならないと思っておりますし、その事務所の場所のあり方についても課題として、今後しっかりと対応させていただきたいと思っております。</p> <p>次に、大久保委員からお願いします。</p>
	<p>大久保委員</p>	<p>学力全国トップである能代市に学ぶということで、これまで学力向上対策に取り組んできておりますが、学力テストの結果をみると徐々に上向いてきていると感じております。これまでの継続した取り組みが機能し、やっと芽が出てきたのではないかと感じております。さらに学力向上を図るための組織としては、このような姿が良いのではないかと考えております。</p> <p>心配される点は、専門の学力向上研究員を中堅の先生方から選任するという点で、その先生方の負担が増えてしまうため、その負担分をどのようにカバーしていくのが課題になると思っております。先日、佐沼小学校で英語の自主公開授業がありました。英語が得意な先生や苦手な先生がいるかと思っておりますが、担任の先生が英語を教える時代になってきています。英語が小学校5・6年生で教科化されることから、ALTの方々の支援をいただきながら、国が支援する担任教科制度を活用してみてもどうかと思っております。</p> <p>それから、生き生き学校支援室と適応指導教室については、一人一人個性があり違うことから、一人一人と向き合える体制を整える</p>

<p>議題・発言</p>	<p>大久保委員</p> <p>議長・熊谷市長</p>	<p>ための適正な人材を配置することが必要であると思っております。</p> <p>大久保委員からも良い意見をいただいたと思います。学力向上については成果が見えてきたと感じておりますし、教育長、教育委員会の努力だけではなく、先生方の力添えも非常に大きいものだと思います。今後もこのような形で学力が伸びていってほしいと思いますし、そのことが子供さん方の自信にも繋がっていくと思います。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>次に、佐竹委員からお願いします。</p>
	<p>佐竹委員</p>	<p>保護者としての視点から、教育と学力向上についてご意見を出させていたきたいと思っております。</p> <p>保護者としては、先生方のスキルアップやケアができる場所があれば良いと考えていますし、教育研究所のような施設は必要であると思っております。私はPTAで活動をさせていただいておりますが、日本PTA全国協議会で毎年保護者に学校教育に関しての意識調査として、アンケートをとっております。その中でも、保護者が学校、先生に求めるものとして、「学ぶ楽しさを実感できる授業を工夫してほしい」という意見がいつも多く出されます。保護者としては、子供が学校で教えられた事を「分かる」、「できる」までになってほしいと思っています。そのためには、子供が授業に興味を持って取り組めることが大事ではないかと考えております。</p> <p>また、先生方が苦勞されていると思う点は、時代の流れとともに外国語教育やプログラミング教育が入ってきて、カリキュラムも変化していくために、教材研究をしなければならないことです。子供達の指導をしながら、保護者の対応をしながら、自分達のスキルアップもしなければならないということで、先生方が多忙な中で大きな不安や心配を抱えているのではないかと思いますので、そういったことを取り除くことができる施設にしてほしいと考えております。</p> <p>やはり、先生方が心身ともに健康であれば、子供達に向き合える余裕や時間が増え、不登校やいじめが減る方向に向いていくと思います。</p> <p>それから、このような施設があるということを地域や保護者の人など多くの人に知ってほしいですし、先生方が頑張っている事も理解してほしいので、それらの啓発についても力を入れていたきたいと思っています。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>佐竹委員から（仮称）教育支援センターの必要性について、最初にお話しいただきました。先生方がスキルアップできる施設、先生方をケアできる施設であってほしいという思いを述べていただきました。私もそのような施設になると考えておりますし、そのような体制整備が必要であると思っております。</p> <p>また、市、教育委員会としてこのような目的で、このような施設があるということを教育研究所時代には、市民の皆様への周知が少し不足していたのではないかと感じております。周知については必要であると思っておりますし、周知することで市民の皆様からもこれまで</p>

<p>議題・発言</p>	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>以上のご提言もいただけるものと思っております。 次に、須藤委員からお願いします。</p> <p>提案された案は、業務が区分されていて分かりやすい組織体制に見直しが図られていて良いと思いました。今までは、教育研究所で教育相談を行い、さらに心のケアハウスでも教育相談を行い、それから、教育研究所と生き生き学校支援室でも学力向上対策を行うというように業務が錯綜していたところがありました。それが（仮称）教育支援センターで、正規職員を配置し学力向上対策に一本化して、集中して支援ができることは、先生方にとって大きな力になると思います。</p> <p>また、不登校も大きな問題であると思います。本日のテーマの「豊かな社会性の育成」のため、子供達が大人になった時に一人前にしっかりと生きていく力をつけるためには、一人一人に的確な支援をけやき教室、心のケアハウスでしっかりと行うとともに、その子供を持つ親にも教育相談を行うことで、生きていく力がつけられると思います。この組織の見直し（案）では、業務分担、やる事の内容がきちっと決められており、非常に動きやすくなるのではないかと考えます。</p> <p>さらに生き生き学校支援室では、特別支援教育と生徒指導がありますが、特別支援教育については、各学校の特別支援教室において自分の良いところを伸ばしていけるようにバックアップをしていくことが大事であると思います。</p> <p>学力向上については、教育研究所や教育委員会、先生方の力により学力が伸びてきておりますが、中学校はまだ足りないところが課題であると思いますので、（仮称）教育支援センターに正規職員を配置し、中学校の学力向上を図る必要があると思います。</p> <p>それから、教育研究所で幼稚園教育のフォローはしっかりしていますが、市で設置を進めている認定こども園については、まだまだ足りないのではないかと考えます。教育委員会だけでは難しいところがあるので、福祉事務所で保育士のスキルアップをする際に、教育委員会で力を貸して、（仮称）教育支援センターと連携していくためにも正規職員の配置が必要になってくると思います。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>須藤委員からは、役割分担がすっきりとした組織になったとの意見をいただきました。不登校児童生徒の状況については、後で教育長から話していただきたいと思っております。</p> <p>中学校の学力向上については、高校受験にもつながりますし、もう少し対応が必要であると私も考えております。</p> <p>また、認定こども園については、簡単に言いますと幼稚園と保育所が合体した組織であります。市民生活部の子育て支援課と教育委員会が担当となりますので、それぞれ連絡を密にさせながら組織をうまく活用していけるようにしたいと思います。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>それでは、5人の委員の皆様からご意見をいただきましたが、教育長から話ができればお願いします。</p>

<p>議題・発言</p>	<p>高橋教育長</p>	<p>まずは、組織の見直しを進めていきたいと思いますが、これが全てではないということでもあります。</p> <p>須藤委員から中学校の学力向上について話がありました。私は、小学校も中学校も一緒であると考えて加賀野小学校をモデル校にお願いしましたが、中学校と小学校では少し違いがあるようですので、来年度は中学校にもモデル校を設置したいと考えております。現在、その募集をかけておりますが、できれば、学力向上指定校のほかに、「学校に行きたくなる学校づくり」もテーマにお願いしたいと思っています。市長も話された不登校の問題を踏まえて、不登校になってからの対応をけやき教室や心のケアハウスで行っておりますが、不登校になる前に対策を講じたいと考えております。不登校は中学校が減って、小学校が増えてきている状況ですが、相対的にはもっと減らしていかなければなりません。まず、不登校にならない学校づくりと不登校になった場合の対応をしっかりと行うことによって数を減らしていくということが、私を含めた教育委員会職員の考えであります。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>それでは「確かな学力の向上と豊かな社会性の育成について」の協議は、これでよろしいですか。そのほかに付け加えることはございませんか。</p>
	<p>教育委員・畠山教育長 職務代理者</p>	<p>適応指導教室の不登校対策についてですが、不登校が秋田県能代市では1,000人に対して4～5人、福島県三春町では町全体で2～3人にしかいないということで、不登校対策は失礼な言い方をすれば、無駄な仕事をしているとも考えられます。そこで、教育長が話されたように、不登校になる前に対応しなければならないし、なったらなったらで積極的な対策を講じなければなりません。早く計画的に不登校を減らし、その力を学力向上やいじめ対策にあてられるよう、この組織体制の見直しから行ってほしいと感じました。</p>
	<p>議長・熊谷市長</p>	<p>委員の皆様からいろいろなご意見をいただきました。「確かな学力の向上と豊かな社会性の育成について」は、(仮称)教育支援センターなどの学校教育支援体制の見直し(案)について、委員の皆様からはこのような方向性で良いとの意見であったと理解させていただきます。</p> <p>それでは「確かな学力の向上と豊かな社会性の育成について」の協議は、これでよろしいですか。</p> <p>(はいの声あり)</p>
<p>議長・熊谷市長</p>	<p>それでは、ただいま協議した内容で整理し、事務局は学校教育支援体制の見直し(案)について、教育委員会議会で、教育委員の皆様を確認をいただくようお願いいたします。</p> <p>本日は、大変いい議論ができたと思いますし、委員の皆様から大変貴重なご意見をいただいたと思います。</p> <p>できるだけ本日の意見を実現できるよう進めてまいりますので、今後ともご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。</p>	

議長・熊谷市長	議題についてはこれで終了とし、進行を司会に戻します。
司会	その他といたしまして、事務局では特に連絡事項等はありませんが、委員の皆様から何かございますでしょうか。
	〔なし〕の声あり
司会	それでは、以上をもちまして、第9回登米市総合教育会議を終了とさせていただきます。 大変、お疲れ様でした。
	閉会（午後2時18分）